

Title	訃報 : 畠中先生
Author(s)	福重, 元嗣
Citation	大阪大学経済学. 2017, 66(4), p. 27-28
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/60452
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University



畠中先生

畠中道雄先生は、2016年11月5日に逝去されました。90歳でした。大阪大学を定年退官されたのは、1989年（平成元年）3月なので、この記事を読まれる可能性のある学生さんや大学院生さんは、直接お会いしたことの無い方がほとんどだと思います。

私が、最初に畠中先生にお会いしたのは、1982年（昭和57年）4月に、学部3年生の時に、先生のゼミ（演習）に所属した時です。それから1988年（昭和63年）4月に、私が神戸商科大学の助手として採用されるまで狭い意味での先生（指導教官）でした。その6年は、もちろん多くのことを先生から学びました。就職した後も、先生の論文の手伝いや、先生のお宅に何度かお話に行くという機会にも、色々と教わったような気がしています。

この文章を書くにあたり、資料室を通していくつかの追悼の文章を参考にいただきました。たまたまかも知れませんが、皆さん、先生の功績について、ある方は、淡々と、ある方は、格調高く、書かれていました。私には、そのような文才はないような気がしますので、先生に教わったこと、先生の言葉を紹介して、追悼の文章にしたいと思います。先生の業績やご活躍に関しては、

- ・1987年3月：『大阪大学経済学』第36巻3・4号の退官記念号
 - ・1990年：Econometric Theory Volume 6, Issue 3のET Interview
- を見てください。

さて、いくつか先生の言葉を紹介したいと思います。

『まじめにやっていれば何とかあります』

この言葉は、また私が学部生だった頃に、私の大学院進学に関して、「大学院に入って将来食べていけますか?」という質問をしたときに帰ってきた言葉です。当時は企業への就職も考

えていた時期でした。この言葉は、本人に言うか言わないかは別として、今、大学院に入ってくる院生さん達に対して、私も、個人的に思っていることです。ただし、『まじめ』という言葉は、人によっていろいろと解釈があるもので、先生がその時に思っておられた意味と、私が今思っている意味が同じかどうかは、分かりません。ただ、私が、大学院生の時の先生の指導を思い出してみると、『適切な指導の下にまじめに論文を書く訓練をすれば』、ということだったような気がしています。

『研究者は飽きっぽい人に向いている職業です』

研究者というのは、一つのことを一生かけてコツコツと解明していくものだと思っている人が多いのかもしれませんが。この言葉を聞いた後に、先生は、「一つ分野で研究して、いくつか論文を書いて飽きたら、また別の分野に行き研究して、論文を書けば良いので、飽きっぽい人に向いている」という内容のことをおっしゃいました。個人的には、この言葉に安心して、手を広げすぎてロクな論文が書けなくなっているのかもしれませんが、私はこの分野しかしませんと、ストイックにそれも生産性低く、頑張る先生方より、私は楽しく研究者をやっているような気がしています。

『経済学者が興味を持ってくれるような論文が大切です』

この言葉を説得的に言えるようになるのは、何時だろうと考えてしまいます。先生は、競争の厳しいアメリカの大学で過ごされた経験から、この言葉を言われたのだと思います。何人かの研究者の中には、自分がやっている分野が一番だと信じている人たちがいます。少なくとも先生からは、『計量経済学を研究する者として経済学に貢献するために何をすべきか』という言葉とともに、『マクロ経済学やミクロ経済学の中には、もっと経済学に貢献する研究がある』という内容のお話を、何度か伺ったことがあります。

最後に、先日、お線香をあげに先生のお宅に伺った時に、奥様より『畠中は、どんな先生でしたか？』、『怖い先生でしたか？』と尋ねられました。弟子としては、『素晴らしい先生でした』と答えるべきだったのかもしれませんが、思わず『普通の先生でした』と答えてしまいました。私にとっての先生のサンプルは、一つしかないのですが、畠中先生は、平均値の不偏推定量の実現値（推定値）以外の何物でもないので、畠中先生は、平均値の不偏推定量の実現値（推定値）以外の何物でもないので、もちろん、怖い先生だと思ったことも一度も無かったです。悪い生徒だったのででしょうか、質問してみたかったです。

2017年1月

(福重元嗣 大阪大学大学院経済学研究科教授)